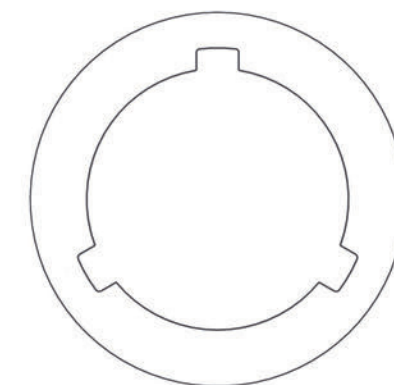




カムログインプラントシステム カムログアバットメント ロケーター



製造販売業者 株式会社アルタデント

本 社 〒530-0012 大阪市北区芝田2-8-31 第三東洋ビル2F TEL(06)6377-2221 FAX(06)6377-2223
東京支社 〒106-0047 東京都港区南麻布2-14-19 オキノビル3F TEL(03)5420-2290 FAX(03)5420-4790

製造業者 Altatec GmbH Maybachstr 5, 71229 Wimsheim, Germany

IN. 0002. 201603. 01

camlog
アルタデント
株式会社
www.alta-dent.com

camlog

目次

製品の説明	4
ロケーターシステムのコンポーネンツ	5
ロケーターインスツルメント	6
ロケーター用インスツルメント	6
手順	7
ロケーターアバットメントの装着	7
ロケーターアバットメントの締め付けトルク	7
インプラント間の角度測定	7
新たにロケーター固定式総義歯を作製する場合	8
印象採得	8
リテンションインサートの選択	8
作業模型の作製	9
ロケーターアナログを選択する	9
総義歯の作製	9
色分けされたリテンションインサートの装着	10
既存の総義歯をロケーター固定の総義歯に変更する	11
作業模型の作製	11
総義歯の変更	11
歯科医院で既存の総義歯をロケーター固定の総義歯に変更する	12
既存の総義歯のリテンションインサートの交換	13
ロケーター固定の総義歯の裏装	14

ロケーターシステム

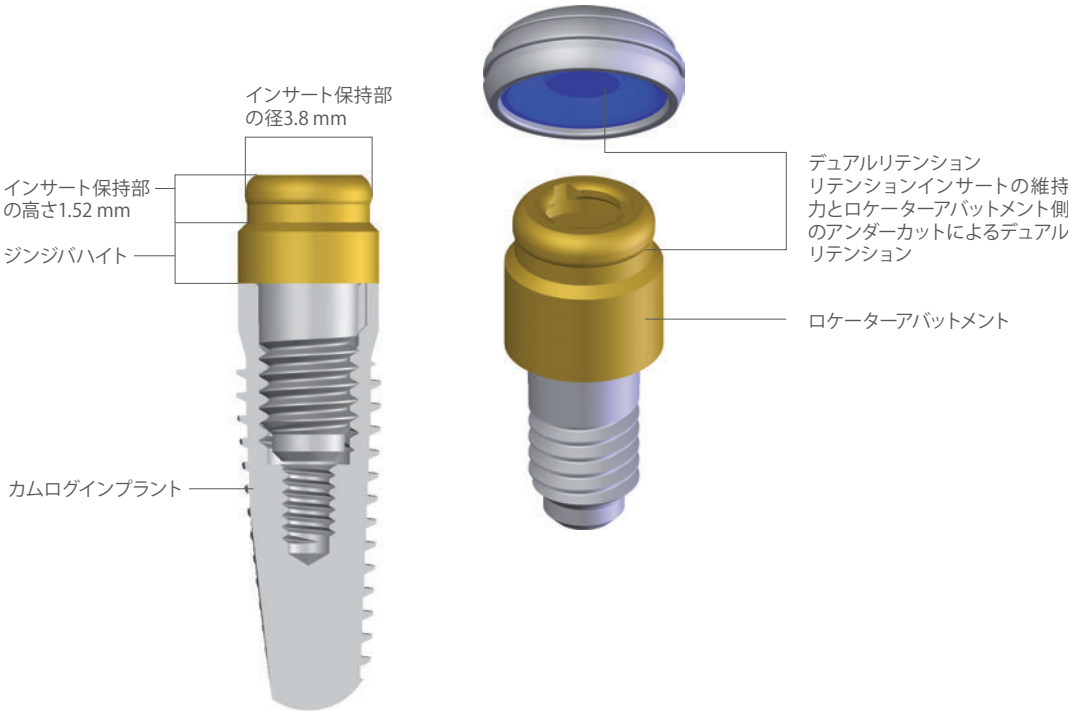
製品の説明

ロケーターシステムは、上顎と下顎の粘膜およびインプラント支持のオーバーデンチャーに使用します。このシステムは、インプラント軸の傾斜が 1 本あたり 20° 以内（インプラントどうしの傾斜角度が 40° 以内）のケースに使用できます。ロケーターシステムは患者がデンチャーを着脱する際に適正な位置にガイドするようデザインされています。ロケーターアバットメント側のアンダーカットとリテンションインサートの嵌合デザインにより二重の維持（デュアルリテンション）が得られます。

ロケーターシステムには、維持力の異なる様々なリテンションインサートがあります。ロケーターアバットメントは、直径が 3.8、4.3、5.0 mm の 3 種類、歯肉貫通部の高さは 1.0、2.0、3.0、4.0 mm の 4 種類がラインアップされています。

ロケーターシステムはインプラント支持の総義歯にも適用可能です。

- ロケーターシステムを用いた新しい総義歯の作製
- 既存の総義歯をロケーター固定義歯に変更



ロケーターシステムのコンポーネンツ

商品コード	商品名	直径 Ø (mm)	GH(mm)
J2253.3810 J2253.3820 J2253.3830 J2253.3840	 カムログアバットメント ロケーター	3.8	1.0 2.0 3.0 4.0
J2253.4310 J2253.4320 J2253.4330 J2253.4340			1.0 2.0 3.0 4.0
J2253.5010 J2253.5020 J2253.5030 J2253.5040			1.0 2.0 3.0 4.0
J2253.0200	ロケーター印象キャップ (4 入)	3.8/4.3/5.0	
J2253.0340	ロケーターアナログ (4 入)	3.8/4.3	
J2253.0350	ロケーターアナログ (4 入)	5.0	
J2253.0102	リテンションインサートセット 0°-10° (2 入) セット内容:プロセッシングインサート (ブラック) が組込まれたプロセッシングハウジング 1、ブロックアウトスペーサー ホワイト1、リテンションインサートクリア 1、リテンションインサート ピンク 1、リテンションインサート ブルー 1	3.8/4.3/5.0	
J2253.0112	リテンションインサートセット 10°-20° (2 入) セット内容:プロセッシングインサート ブラックが組込まれたプロセッシングハウジング 1、ブロックアウトスペーサー ホワイト1、リテンションインサートグリーン 1、リテンションインサート オレンジ 1、リテンションインサート レッド 1	3.8/4.3/5.0	
J2253.0401	ロケーターブロックアウトスペーサー (20 入)	3.8/4.3/5.0	
J2253.0402	ロケータープロセッシングインサート (4 入)	3.8/4.3/5.0	
J2253.1005	ロケーターリテンションインサート 0°-10° クリア (ストロング) (4 入)		
J2253.1003	ロケーターリテンションインサート 0°-10° ピンク (ミディアム) (4 入)		
J2253.1002	ロケーターリテンションインサート 0°-10° ブルー (ライト) (4 入)		
J2253.2004	ロケーターリテンションインサート 10°-20° グリーン (ストロング) (4 入)		
J2253.2003	ロケーターリテンションインサート 10°-20° オレンジ (メディアム) (4 入)		
J2253.2002	ロケーターリテンションインサート 10°-20° レッド (ライト) (4 入)		
J2253.2000	ロケーターリテンションインサート 10°-20° グレー (ゼロ) (4 入)		

ロケーターシステム

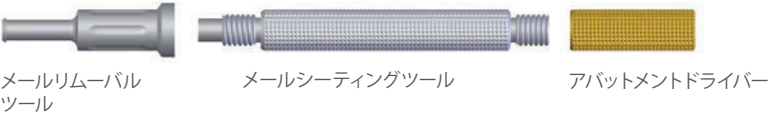
ロケーターインスツルメント	
商品コード	商品名
J2253.0004	ロケーターパラレルポスト（4 入）
J2253.0003	ロケーターアングル測定ガイド
J2253.0001	ロケーター用ドライバー
J2253.0002	ロケーター用インスツルメント

ロケーター用インスツルメント

ロケーター用インスツルメントは 3 つの部分で構成されています。プロセッシングインサートやリテンションインサートを取り外すには、メールリムーバルツール部を反時計方向に 3 回程度回して緩め、先端をハウジング内のリテンション部に差し込みます。インサートにエッジが噛みこみますのでそのまま取り外します。ハウジングからインサートを外した後、リムーバルツール部を時計方向に回しますとインスツルメントの先端からインサートが外れます。

ロケーター製造者: Zest Anchors, Inc.
Escondido, CA 92029, USA

ロケーターは Zest Anchors, Inc. の登録商標です。



プロセッシングインサート ブラックやリテンションインサートをプロセッシングハウジングに取り付けるには、ロケーターインスツルメントのメールシーティングツール部を使います。リムーバルツール部を外しメールシーティングツールの先でリテンションインサートをプロセッシングハウジングの奥まで押し込みます。アバットメントドライバーはロケーターアバットメントをインプラントへ装着する際に使用します。

手順

ロケーターアバットメントの装着

適切なカムログアバットメント ロケーターを選択するには、インプラントの径と歯肉の厚さを知る必要があります。歯肉の厚さによって必要なアバットメントのジンジバハイトの高さが決まります。アバットメント最上部が歯肉から 1.5 mm 以上出るように適切なジンジバハイトのロケーターアバットメントを選択します。

重要な注意

アバットメント最上部は歯肉縁上 1.5 mm 以上の位置であること。

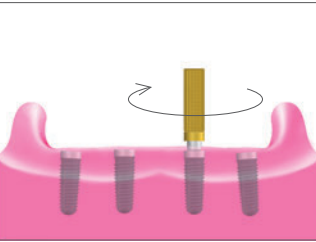


ジンジバフォーマーを外し、カムログインプラントの内部を洗浄します。インプラントとアバットメントの接合部が骨や軟組織で被覆されないようアバットメントをインプラントに正しく装着します。

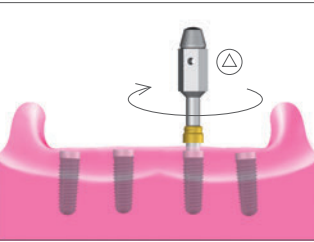
ロケーターアバットメントをカムログインプラントに装着するには、ロケーター用インスツルメントのアバットメントドライバー部もしくはロケーター用ドライバーが使用できます。ロケーター用ドライバーはトルクレンチが使用でき、アバットメントを規定のトルクで装着できます。

ロケーターアバットメントの締め付けトルク

Implant Ø 3.8/4.3/5.0 mm 30 Ncm
注: 装着約5分後に、ロケーターアバットメントを同じトルクで増し締めしてください。



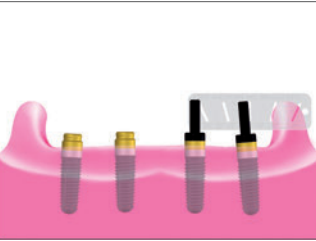
ロケーターインスツルメントのアバットメントドライバー部



ロケーター用ドライバー

インプラント間の角度測定

インプラント間の角度を測定するには、固定したアバットメントに平行ポストを装着します。カチッという感触が得られれば正しく装着されています。アングル測定ガイドを用いて、インプラント - アバットメント相互間の角度を測定します。



ロケーター アングル測定ガイド



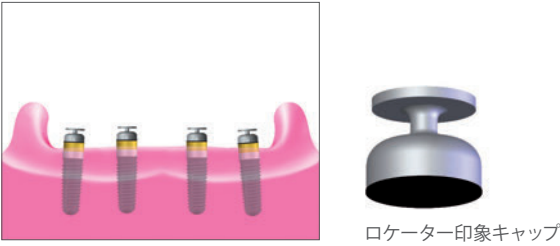
ロケーター パラレルポスト

ロケーターシステム

新たにロケーター固定式総義歯を作製する場合

印象採得
カムログインプラントに装着したロケーターアバットメント上にロケーター印象キャップを用いて印象を採得します。

印象キャップを各ロケーターアバットメントに装着します。印象キャップが正しく装着されていることを確認します。シリコンやポリエーテルなどの適切な印象材を用いて、口腔内の印象を採得します。印象材が硬化し、トレーを外すと、印象材の中にロケーター印象キャップが取り込まれます。



ロケーター印象キャップ

リテンションインサートの選択
各リテンションインサートの維持力の値を考慮して適切なインサートを選択します。

**リテンションインサートセット
(0°～10°)**
内容：プロセッシングインサート(ブラック)が組込まれたプロセッシングハウジング、ブロックアウトスペーサー (ホワイト)、リテンションインサート (クリア、ピンク、ブルー)

**リテンションインサートセット
(10°～20°)**
内容：プロセッシングインサート(ブラック)が組込まれたプロセッシングハウジング、ブロックアウトスペーサー (ホワイト)、リテンションインサート (グリーン、オレンジ、レッド)

インプラントの傾斜角 0°～10° の場合のリテンションインサート	
カラー：クリア 保持力：ストロング	
カラー：ピンク 保持力：ミディアム	
カラー：ブルー 保持力：ライト	

リテンションインサートの装着は、歯科技工所又は歯科医院にて指定の方法で行います。

作業模型の作製

印象を採得したのち、ロケーターアナログを用いて作業模型を作製します。サイズが2種類ありますので使用するロケーターアバットメントの径に対応するアナログを選択します。

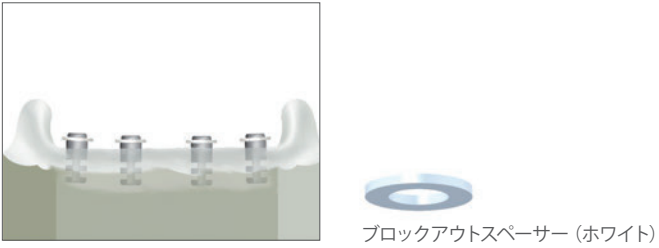
注意
採得した印象上では口腔内で実際に使用したロケーターアバットメントの直径が分かりませんので、ロケーターアナログの選択に当たっては、技工サイドにアバットメントの直径を連絡する必要があります。

ロケーターアナログを選択する		
ロケーター印象キャップ		
ロケーターアナログ	J2253.0340	J2253.0350
対応するロケーターアバットメント	Ø 3.8/4.3 mm	Ø 5.0 mm

インプラントの径に合わせたロケーターアナログを、印象に取り込まれた印象キャップに装着します。アナログが確実に装着されていることを確認します。適切な模型用材料で作業模型を作製します。



総義歯の作製
作業模型の作製が終わると、リテンションインサートセットに入っているブロックアウトスペーサー (ホワイト) をロケーターアナログのインサート保持部に取り付け、レジンがプロセッシングハウジングの中に入り込まないようにします。



ブロックアウトスペーサー (ホワイト)

プロセッシングインサート (ブラック) が組込まれたプロセッシングハウジングを、ブロックアウトスペーサーを取り付けたアナログに確実に装着します。

プロセッシングハウジングにはあらかじめプロセッシングインサート (ブラック) が装着されており、義歯床に取り込む際に適度な維持力で作業が行なえます。



プロセッシングインサート (ブラック) が組込まれたプロセッシングハウジング

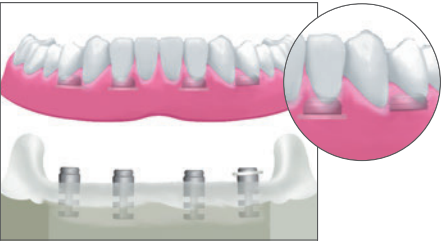
警告
ブロックアウトスペーサーを使用してもプロセッシングハウジングと歯肉の間にアンダーカットがある場合はレジンがプロセッシングハウジングの中に入り込まないようにブロックアウトしてください！

通法に従って総義歯を作製します。

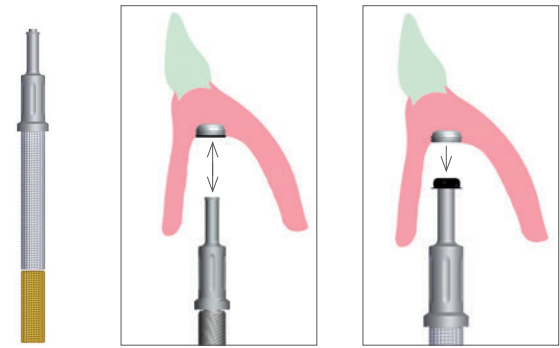
ロケーターシステム

色分けされたリテンションインサートの装着

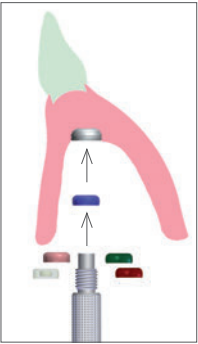
総義歯の作製が終わったら、プロセッシングハウジングからブロックアウトスペーサー（ホワイト）とプロセッシングインサート（ブラック）を外します。



ロケーターインスツルメントを用いてプロセッシングハウジングからプロセッシングインサート（ブラック）を取り外します。メーリングツール部を反時計方向に3回ほど回して緩めます。メーリングツール部をプロセッシングインサート（ブラック）に押し込み、プロセッシングインサート（ブラック）を外します。



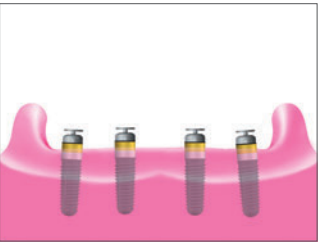
ロケーターインスツルメントのメーリングツール部を用いて、リテンションインサートを空のプロセッシングハウジングの中へ装着します。メーリングツール部を外し、メーリングツール部を用いてリテンションインサートをプロセッシングハウジングに押し込みます。



注意
リテンションインサートとロケーターインスツルメントのシーティングツール部にはフリクションがありませんので保持できません。そのため、シーティングツール部を垂直に保持し、選択したリテンションインサートを乗せ義歯の粘膜面側からリテンションインサートを押し込んでください。

既存の総義歯をロケーター固定の総義歯に変更する

ロケーターシステムのコンポーネントを既存の総義歯に組み込むこともできます。ロケーターアバットメントをカムログインプラントに挿入し（7ページ参照）、ロケーター印象キャップをアバットメントに装着します。印象キャップが正しく装着されていることを確認します。



印象キャップの位置に相当する既存義歯床内面を削合します。

重要な注意
口腔内で適合をチェックするとき、ロケーターアバットメント上の印象キャップが義歯に接触しないようにしてください。

この場合の印象採得は義歯の裏装と全く同様で、スペース形成した義歯を直接印象キャップの上に置いて採得します。印象キャップが印象に適切に取り込まれるようにポリエーテルやシリコンなどの印象材を使用することをお勧めします。

オプション: 義歯床が薄く当たりが出る場合、プロセッシングハウジングで印象を採得することもできます。この場合印象取り込み時の保持力が低下することを考慮する必要があります。

作業模型の作製

インプラントの径に合った適切なロケーターアナログを印象内の印象キャップに装着します。アナログが確実に装着されていることを確認ください。

注意
採得した印象上では口腔内で実際に使用したロケーターアバットメントの直径が分かりませんので、ロケーターアナログの選択に当たっては、技工サイドにアバットメントの直径を連絡する必要があります。

適切な模型材で作業模型を作製します。



総義歯の変更

作業模型の作製が終わると、ブロックアウトスペーサー（ホワイト）をロケーターアナログのインサート保持部に取り付け、レジンがプロセッシングハウジングの中に入り込まないようにします。



ブロックアウトスペーサー（ホワイト）

プロセッシングインサート（ブラック）が組込まれたプロセッシングハウジングを、ブロックアウトスペーサーを取り付けたアナログに確実に装着します。

ロケータースystem



プロセッシングインサート(ブラック)が組込まれたプロセッシングハウジング

プロセッシングハウジングにはあらかじめプロセッシングインサート(ブラック)が装着されており、義歯床に取り込む際に適度な維持力で作業が行なえます。

警告
ブロックアウトスペーサーを使用してもプロセッシングハウジングと歯肉の間にアンダーカットがある場合はレジンがプロセッシングハウジングの中に入り込まないようブロックアウトしてください！

プロセッシングハウジングを既存の総義歯に重合させ、必要な場合は義歯の裏装も行います。

義歯をトリミングし、研磨を行った後、プロセッシングインサート(ブラック)を取り外し、10 ページの「色分けされたリテンションインサートの装着」の説明に従って適切なリテンションインサートと交換します。

完成した義歯を口腔内に装着し、咬み合わせをチェックします。

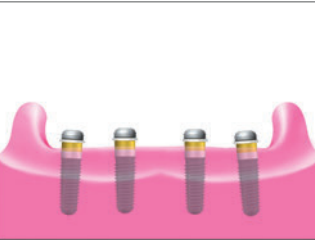
歯科医院で既存の総義歯をロケーター固定の総義歯に変更する

ロケータースystemのコンポーネントを歯科医院で既存の総義歯に組み込むこともできます。ロケータアバットメントをカムログインプラントに装着し(7 ページ参照)、ブロックアウトスペーサー(ホワイト)をロケータアバットメントのインサート保持部にかぶせ、レジンがプロセッシングハウジングの中に入り込まないようにします。

警告
ブロックアウトスペーサーを使用してもプロセッシングハウジングと歯肉の間にアンダーカットがある場合はレジンがプロセッシングハウジングの中に入り込まないようブロックアウトしてください！

危険！
口腔内で使用する全ての製品に関して、患者が誤って吸引したり嚥下したりすることのないよう注意してください。

プロセッシングインサート(ブラック)が組込まれたプロセッシングハウジングを、ブロックアウトスペーサーを取り付けたロケータアバットメントに確実に装着します。



プロセッシングハウジングにはあらかじめプロセッシングインサート(ブラック)が装着されており、義歯に弾性が付与されます。

既存の総義歯のプロセッシングハウジングを取り込む部分を慎重に削合し、穴をあけます。試適の際に義歯がハウジングに接触しないようにしてください。接触すると、口腔内の義歯の正確な位置決めに影響を及ぼす可能性があります。余剰のレジンはこの穴を通して咬合面側に抜けます。

メーカーの指示に従って、プロセッシングハウジングを適切な即時重合レジンで重合させます。この際プロセッシングハウジングにもレジンを塗布して湿潤させることをお勧めします。そののち義歯を口腔内に装着し、適合をチェックしてから、咬合面側の穴からレジンを充填します。レジンが硬化したら、義歯を取り出し、余分なレジンを除去し研磨します。

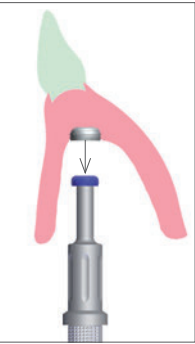


プロセッシングインサート(ブラック)を取り外し、10 ページの「色分けされたリテンションインサートの装着」の説明に従って適切なリテンションインサートと交換します。完成した義歯を再度口腔内に装着し、咬合をチェックします。

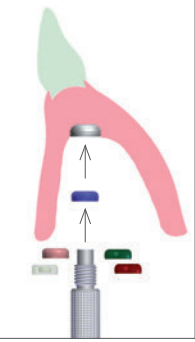


既存の総義歯のリテンションインサートの交換

必要な場合は、ロケータースystemインスツルメントを用いてリテンションインサートを交換します。メーリングリムーバルツール部を反時計方向に3 回ほど回して緩めます。メーリングリムーバルツール部をプロセッシングインサート(ブラック)に押し込み、プロセッシングインサート(ブラック)を外します。



ロケータースystemインスツルメントのメーリングシートングツール部を用いて、リテンションインサートを空のプロセッシングハウジングの中へ装着します。(メーリングリムーバルツール部を外し、メーリングシートングツール部を用いてリテンションインサートをプロセッシングハウジングに押し込みます。)



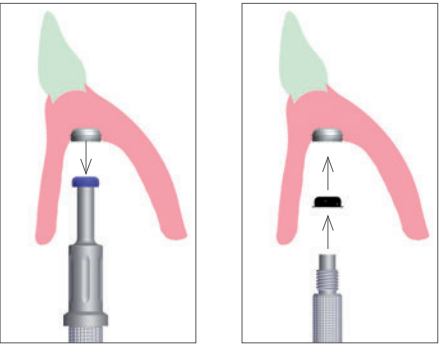
注意
リテンションインサートとロケータースystemインスツルメントのシートングツール部にはフリクションがありませんので保持できません。そのため、シートングツール部を垂直に保持し、選択したリテンションインサートを乗せ義歯の粘膜面側からリテンションインサートを押し込んでください。

10 ページの「色分けされたリテンションインサートの装着」を参照してください。

ロケータシステム

ロケータ固定の総義歯の裏装

ロケータインスツルメントを用いて義歯に組み込まれたプロセッシングハウジングからリテンションインサートを取り外し、プロセッシングインサート（ブラック）と交換します。13 ページの「既存の総義歯のリテンションインサートの交換」を参照してください。



プロセッシングインサートは、裏装のための印象採得時に義歯をロケータアバットメントに維持、固定します。

通法通り義歯で印象を採得します。義歯を正しく装着してください。印象材がプロセッシングインサートに入り込まないようにしてください。印象が適切に採得できたら、義歯内のプロセッシングハウジングの中にプロセッシングインサート（ブラック）が残ります。裏装のための印象を技工所に渡します。

注意
作業模型を作製するためのロケータアナログの選択に当たっては、技工サイドにアバットメントの直径を連絡する必要があります。

技工所では作業模型作製のために、対応するロケータアナログをプロセッシングインサート（ブラック）に挿入します（9 ページの「作業模型の作製」を参照）。

作業模型を作製し、裏装印象を通法通り模型に固定します。

注意
義歯内の既存のプロセッシングハウジングをこの際に交換しておくことをお勧めします。

作業模型から印象を外したのち、プロセッシングハウジングを義歯から取り外します。レジンがプロセッシングハウジングの中に入り込むのを防ぐため作業模型上のロケータアナログにブロックアウトスペーサー（ホワイト）を装着します。



プロセッシングインサート（ブラック）が組込まれたプロセッシングハウジングを、ブロックアウトスペーサーを取り付けたアナログに確実に装着します。プロセッシングハウジングにはあらかじめプロセッシングインサート（ブラック）が装着されており、義歯床に取り込む際に適度な維持力で作業が行なえます。



注意
ブロックアウトスペーサーを使用してもプロセッシングハウジングと歯肉の間にアンダーカットがある場合はレジンがプロセッシングハウジングの中に入り込まないようブロックアウトしてください！

裏装のために義歯の粘膜面を削合し、プロセッシングハウジング部分を削ります。印象と作業模型を合わせる際に、プロセッシングハウジングが義歯に接触しないようにしてください。義歯を従来の方法で裏装します。

義歯をトリミングし、研磨したら、プロセッシングインサート（ブラック）を取り外し、10 ページの「色分けされたリテンションインサートの装着」の説明に従って適切なリテンションインサートと交換します。完成した義歯を挿入し、咬合をチェックします。

カムログインプラント K-シリーズ	医療機器承認番号	【高度】	22200BZX00868000
カムログアバットメント ロケータ	医療機器承認番号	【高度】	22700BZX00379000
カムログロケータ 上部構造材	医療機器認証番号	【管理】	227AKBZX00067000
ロケータ印象キャップ	医療機器届出番号	【一般】	27B1X00027000117
ロケータアナログ	医療機器届出番号	【一般】	27B1X00027000095
ロケータ補綴用器具	医療機器届出番号	【一般】	27B1X00027000116